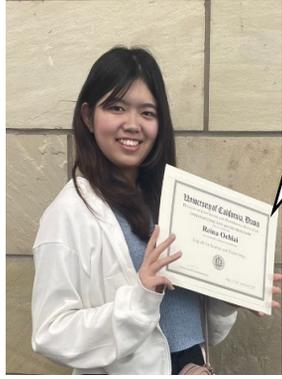


2023年夏渡航



2023年夏渡航





留学を通して、言語を学ぶ重要性を改めて理解することができ、モチベーションを保ちながら語学の勉強を続けています！

システム理工学部 環境システム学科 3年
落合玲奈さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

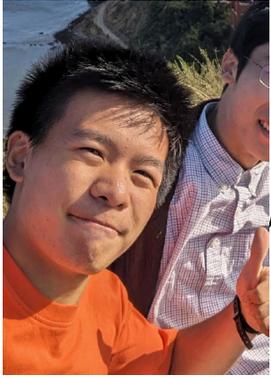
派遣先： アメリカ・UCD

英語力をさらに伸ばすべく、私は今回このプログラムに参加しました。三年に入ってから就活準備を行うようになり、何が必要になってくるのか、自分には何ができるのかが中々分からず悩んでいた時、このプログラムを知りました。英語力に自信はありませんでしたが、環境を変えたり海外の人々と話したりして新しい視点を取り入れることが今後に良いと考え、参加を決意しました。

滞在期間中は、平日の9時から13時まで授業を受けました。どの授業でもプレゼンが多くあり、それぞれが重なって大変な時期もありました。しかし回をこなしていくほど、自分の意見を伝えることに慣れ、苦手とする部分を克服できました。平日の午後は自由時間のため、大学内やデビス市内、隣町などで過ごし、その土地で住むにあたってどういった良さがあるのかを身をもって体感しました。また、私はホストマザー一人の家に滞在しました。最後まで私の英語が未熟であり伝わらないこともありながら、アメリカと日本の文化に対する違いなど様々な話題で会話を楽しみました。

一か月といった短期間のプログラムでしたが、得られたものは大きいと感じています。特に私はネイティブに伝わらなかった経験がとても悔しく、帰国後も英語などの言語を勉強する意味を感じながら取り組んでいます。また同じプログラムに参加した芝浦生、他大学の学生などとも仲良くなり、留学への不安以上の楽しさがあったと感じています。

留学しようと考えている人へのメッセージとして、今は英語がうまく話せないから生活できないかもと思って先延ばしにしない方が良いと思います。私は今回骨折をしながらの渡航となりました。英語もままならない中でしたが、様々な人からの優しさでこのような体でも生活することが出来ました。英語を勉強するきっかけづくりと軽く考えて、参加するだけでも有意義な時間を過ごすことができます。是非、迷っている方は参加してみてください！



現地での学習で英語力を効率的に
向上させることができました！

工学部 機械工学科 2年 劉 数桐さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UC Davis

将来海外で働きたいという思いがあったため、今回のプログラムに応募させていただきました。UCDのプログラムは4週間であり、授業も土日以外毎日あるので短期間で英語力を高めるにはちょうどいいプログラムだと思います。

現地では基本的に月～木曜日までは午前中授業を行い、金曜日はイベントのようなものが毎週ありました。授業では起業に関するトピックや英語の話し方や発音を向上するためのもの、理系に特化した授業など様々なものがあり、短期間で多くのことを学ぶことができました。IRPの授業では課外でインタビューを行い、Davisの地元の方ともたくさんお話することができました。また、授業後は大学に併設されたジムであるARCで運動したり、ダウンタウンのレストランに行ったりと現地の学生ともたくさん交流することができました。そこで聞きたいいろいろな話の中には帰国後の今でも役に立つものもありました。

4週間は行く前はとても長いもののように感じましたが、現地に行くと本当にあっという間でした。国籍や大学、学部を超えてたくさんの仲間に出会えたことは本当にいい思い出です。ホストファミリーの方や現地の先生方も本当に良い方ばかりでした。今回の体験を生かし、今後グローバルPBLなどのプログラムにも参加したいと思います。



語学力を高めるとともに、視野を広げ、モチベーションを高めることができました。

システム工学部 電子情報システム学科 4年
大野幹人さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：アメリカ・UCD

大学在学中に視野を広げるため海外研修に参加しました。プログラムの中でUCDを選んだのは、ホームステイが可能であること、シリコンバレーに近いことが主な理由です。英語力を上げるには英語に接する回数が重要だと考えていたのでホームステイを選びました。また、私はソフトウェアエンジニアになりたいと考えていたので、アメリカのIT産業の中心地であるシリコンバレーを見てみたいと思い、シリコンバレーに近いUCDを選びました。

理工系トピック、発音、起業トピック、調査(インタビュー、プレゼン、ポスター作成)についての授業が行われており、とても勉強になりました。特に発音の授業では英語特有の現象を学ぶことでリスニング力とスピーキング力を向上させ、その成果をアメリカ生活で体感することができました。

一方で全てのクラスの日本人比率が高いこと、自分の英語力が低すぎたことは誤算でした。1つ目の日本人比率が高いことに関して、日本人同士で集まると、英語を話す機会が減ってしまうので事前に確認するべきでした。2つ目の自分の英語力が低すぎたことに関して、まず聞き取れないから会話の内容がわからず、内容がわかっても話せないというダブルコンボでとても苦労しました。私の場合、発音の授業を猛復習し、YouTubeなどで英語を聴きまくることで60%くらい聞き取れるようにし、残りのわからないところを聞いたり、確認したりして話の内容を理解できるようにしました。話すことに関しては文法を一旦無視して、とにかく自分の考えを伝えることを意識しました。その結果、拙いながらも会話ができるようになった時はとても嬉しかったです。

プログラムに参加したことで、英語での生活を経験し、自分に自信を持つことができるようになりました。また、アメリカの文化を体験したことで、日本について別の視点から考えられるようになりました。さらに、シリコンバレーを訪れた経験から、エンジニアとしてのモチベーションが高まりました。このような面から、このプログラムに参加できたことはとても有意義だったと考えています。



現地の人達との会話や授業を通じて英語力が付きました。英語学習のモチベーションアップにもつながりました。

工学部 電気工学科 3年 熊田 大樹さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCD

以前から将来に向けて英語学習をしていきたいという気持ちと、海外を経験してみたいという思いから、今回のプログラムに参加しました。個人的に2週間では短すぎると感じたため4週間のプログラムの中からUCDを選びました。

滞在中は、午前中に講義を受け、グループディスカッションやインタビューの課題を通じて、英語で自分の意見を言う力や、相手の意見を聞く力を養えました。現地での友人もでき、週末には一緒に遊びに行ったり、課題に協力してもらったりしていました。文化の違いや考え方の違いを知ることができ、貴重な経験ができたと感じています。

終わってみればあっという間の4週間が、得られたものは大きく、この経験は将来必ず役に立つと考えています。また、再び海外に留学してみようと考えていて、今はTOEFLの勉強をはじめています。



英語で人前で発表することで英語力が身に付きました。英語に対して自信が付き、学ぶ意欲が上がりました！

システム理工学部 数理科学科 2年
星山優木さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCD

英語力を上げたいという意識は普段からありましたが、どうしてもまとまった英語の学習時間を確保するのは難しく、この語学学習プログラムに参加しました。カリフォルニア大学デービス校4週間のプログラムは、母国語が英語かつ魅力的な場所もたくさんある環境なので、米国の文化を体験しつつ英語の実力を伸ばすには最適なプログラムだと思いました。

すべての授業が英語で行われるため、初めこそ不安がありましたが、フレンドリーな先生やホストファミリーに助けられ英語を話すのが楽しくなってきました。また、授業では同じ理工系の他の大学からの生徒やチリから来た生徒など多種多様な生徒と学ぶことができ、現在自分が学んでいることを共有する機会がたくさんありました。また、ホストファミリーの家族と話す機会があり、いろんな人と話せたことは貴重な経験になりました。

向こうでの食事は、ハンバーガーやピザなどすべて大きく、食べ過ぎに注意する必要がありました。また、相手の質問に対してYesとNoをはっきりいわないと怪訝な顔をされてしまい、自分の意見をはっきり主張するというアメリカの文化を感じることができました。

この留学は自分にとってかなり有意義な経験になりました。授業を通してたくさんの人の前で話すことができ、異文化の知人もたくさん増えました。また、アメリカがどういう場所なのかを身をもって感じることができました。4週間という期間は長いように聞こえましたが、実際行ってみると一日一日が充実していて短いように感じました。ともに参加した芝浦の学生とも学年、学部、学科を超えて仲良くなることができ、帰国後の学生生活も参加前に比べて充実したものとなっています。今後は、このプログラムで培った英語力をベースに、より一層英語の学習に力を入れるとともに、グローバルPBLなどのより高度なプログラムへの活動を考えています。